

# 平成30年度 学校評価



平成31年3月

甲府市立国母小学校

## 保護者・地域のみなさま

保護者、地域の皆様には、1年間、国母小学校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございました。学校評価の結果を集計し、成果と課題、改善策がまとまりましたのでご報告いたします。

学校評価は、学校の教育活動全般について自己評価し、教育活動を組織的、継続的に改善、向上させるために行います。児童、保護者、教職員で行った自己評価について、地域・保護者の代表から構成される学校評議員による「学校関係者評価委員会」で評価していただき、広い視点で改善策をまとめます。

適切に学校評価を行うためには、学校での教育活動を広く保護者や地域の皆様に理解していただくことが必要です。学校では様々な機会や手立てを通して情報を提供するように努めてまいります。

また、学校評価には保護者や地域の皆様のご意見を学校運営に取り入れ参画していただく機能もあります。皆様のご意見を反映することで、今後も信頼される学校づくりをいっそう進めます。

この学校評価結果は甲府市教育委員会に報告し、教育委員会では各学校の成果と課題を教育行政に反映させ、甲府市全体の教育活動の活性化を図っていきます。

保護者、地域の皆様には、今後も温かい目で国母小学校の子供たちを見守っていただき、ふるさと国母を愛し、よりよい地域社会づくりに参画する子供たちを育成できるよう、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

学校評価については、学校ホームページに掲載します。

甲府市立国母小学校

TEL 055-224-4608

FAX 055-224-4606

甲府市国母4丁目1-10

E-mail ; kokubo-e@kofu-ymn.ed.jp

URL ; <http://www.kokubo-e.kofu-ymn.ed.jp/>

(ホームページには右上のQRコードからスマホ等でもアクセスできます。)



## かしこい子どもを育てるために

### 取組状況・成果・課題

主語と述語の関係に気を付けたり、わからない言葉を取り上げて意味を調べたりして書かれている内容を正しく読み取るようにしました。

子供の読む力を高めるため、読書活動を推進しました。

多様な表現方法や教科特有の言葉を意識して書くことに取り組んでできました。他者を意識した文章を書くことに課題が残ります。

校内研の取組を通して、根拠を明らかにした意見を述べるできるようになってきました。他者の意見に対して自身の考えを持ち、比較しながら意見を述べることに課題が残ります。

本時の見通しをしっかりと持たせ、めあてを立てた上で授業を展開してきました。デジタル教科書や実物投影機などを活用しながら、視覚的にも課題把握・考えの共有ができるように取り組んできました。考えさせたいところで発問を工夫したり、友達の意見を広げたりしながら授業に取り組んできました。

校内研で「自ら問いを持つ子供の育成」をテーマに、職員全体で共通意識を持って教育活動に取り組んだことが成果につながるようになりました。

ティームティーチング、学習ボランティアや学生ボランティアを活用することで一定の成果を上げてきました。今後、より有効な活用方法を考える必要があります。

昨年度に引き続き、学校応援団の活用に取り組みました。児童が安全でスムーズに家庭科の実習に取り組むことができ、教師の負担の軽減がはかられました。また、出前授業、出張授業を活用することで児童の深い学びにつながったと考えます。

学習の中で児童の良い点をほめたり、自学ノートへのコメントを通し、一人一人の関心や意欲につながる評価を行ってきました。また、様々な場面で話題にあげ、家庭との連携が図れるようにしてきました。

### 改善策

自身が書いた文章について、読んだ人が内容を正しく理解できるかを意識して、客観的に見直す習慣を身に付けさせていきます。

授業のまとめでは、必要となるキーワードが落ちていないかどうか確認していきます。

他者の意見を聞くときは、自身の考えを持った上で共通点や相違点を探る力を身に付けていけるように指導していきます。

子供の興味関心をひくとともに、個人差に応じていくため、ICTを活用した視覚的にわかりやすい授業を行っていきます。

教科の特性や内容に応じた教材研究を行います。授業で出される子供の考えを予測し、それらをどのように組み立てて授業のねらいにせまっていくかを考えて取り組んでいきます。

児童の実態をしっかりと把握し、個の理解度に応じた支援が図れるようチームとしての対応を心がけていきます。

新学習指導要領において、必要な人的・物的体制の確保をし、社会に開かれた教育課程を意識したカリキュラム・マネジメントに努めます。

児童がいきいきと活動でき、認め合える学級集団づくりを行っていきます。

### 学校関係者評価でいただいた意見等

○小学校では基礎基本の定着が大切。先生方の苦勞，工夫が見られる。

○子供たちは意欲もある。挙手も多い。楽しそうな授業の様子が見られる。小学校はていねいに教え

てくれている。子供たちの表情から楽しく学ぶ姿が見られる。

○話す力の面での伸ばす場が必要となる。

○学校応援団で入ってみると少人数の大切さがわかる。子供の個性を見取り支援していけば伸びていくと思う。

○80%の子が授業がわかりやすく楽しいと答えていることが素晴らしい。

○以前は学校は閉鎖的だというイメージがあったが変わってきている。

## 思いやりのある子どもを育てるために

### 取組状況・成果・課題

地域のあいさつ運動が定着してきており、朝、児童が地域の方や教師に積極的にあいさつする様子が見られます。

子供たち同士で日常のあいさつを交わすことについてはまだ課題がみられます。

教師が児童に対して、友達感覚の言葉遣いになり過ぎないように気を付ける必要があります。

道徳の授業に関しては、評価について校長先生よりご指導をいただき理解を深めながら、授業時数を確保して取り組んでいます。また、日頃から教育活動全体で児童の道徳性を養う指導に努めています。

### 改善策

児童会活動や委員会活動などで、子供たち同士での日常のあいさつを意識できるような取組を行っていきたいと思います。

「ありがとう」や「ごめんね」など、日頃から子供同士でより良いコミュニケーションがとれるように支援していきます。

子供たちが道徳の授業で学んだことを友達との関わりや学校生活において生かせるように、教師が意識して学年・学級経営を行っていきます。

### 学校関係者評価でいただいた意見等

○子供たちはあいさつはしてくれている。危険性もあるが…言葉遣いも気を遣っていると思う。家の前を通る子もしてくれる。

○見守りをしているも帰りの子供たちも進んでしてくれている。

○朝よりも帰りにするのが難しいと思うがしっかりしてくれている。

○低学年の子はついて行くのが必死だから、班長さんを中心に高学年がしていれば問題ないと思う。知らない人としゃべっちゃいけない。不審者に関しては危機感も持たすことも必要では。

○いつもあいさつする子がしないのは何かあるなって思う。いつもと様子が違う子への対応が必要。

○大人は外でも名札を付ければ…どういう人かわかれば子供たちもあいさつしやすい。

○声をかける難しさもある。

## 元気な子どもを育てるために

### 取組状況・成果・課題

ほとんどの児童が肯定的な評価をしています。個々の能力に応じた活動に場をつくったり、運動の楽しさや達成感を与えるような授業を行ったりした成果であると考えます。学級ごとに体育の時間を設定することで、児童の運動量を確保するなどの工夫もしています。

「体力向上」では、3者とも肯定的な評価をしている割合が高いです。今年度は国母タイムの時間に全校で「やまなしチャンピオン・エイトマン」（3分間8の字跳び）に取り組みました。各クラスで休み時間に練習するなど運動に対する意欲の向上が見られました。

「健康教育の充実」では、教師、児童の9割、保護者の8割が肯定的な評価をしています。養教、栄養教諭と連携をした様々な取組の成果と考えられます。

## 改善策

今後も継続して個々の能力に応じた運動の場の設定や体力向上のための運動量の確保をしていきます。また、運動を苦手と感じている児童や、運動に意欲的に取り組まない児童への働きかけを意識して指導にあたっていきます。

新体力テストの結果から、今年度もシャトルランの結果に課題が残りました。全身持久力を高めるために、なわとび運動で一定時間跳び続けたり、曲に合わせて跳んだりすることで、楽しみながら持久力がつくような活動を取り入れていきます。

児童の健康や食に関する意識をさらに高めていけるように、家庭とも連携し、今後も計画的・継続的に指導を続けてきます。

## 学校関係者評価でいただいた意見等

- 運動に親しみ自分の身を育てる心が身に付いている。
- 運動が苦手な子をどう育てるかが今後の課題。
- 運動会を見てもできない子への支援がしっかりできていた。
- 運動会の踊りが素晴らしかった。リレーは個人差が出るが。
- 競ってよい。得意分野を伸ばしてあげることが大切。
- 苦手なことをどう伸ばしてあげるかもあるが、得意なことを伸ばす楽しい授業を。

## 安全安心な学校にするために

### 取組状況・成果・課題

今年度は実践的防災教育推進事業の指定を受け、緊急地震速報受診システムを活用した避難訓練を行いました。また、警察の方を招いての防犯教室や不審者侵入訓練を実施しました。

教員による防災マップの作成や、地域防災訓練に6年生の児童が参加し受付の手伝いや防災体験を行いました。

様々な設定で避難訓練を実施しましたが、毎年の訓練の積み重ねから児童は問題なく避難することができていました。

1・3年生に交通安全教室を実施し、安全な歩行や自転車の乗り方について指導を行うことができました。

長期休業前には、事故に遭わないように道の歩き方や自転車の乗り方について指導を行いました。

集団下校の際には教員も下校班に付き添い、児童とともに危険箇所などを確認し、年間を通して計画的に交通安全教育を実施することができました。

正面玄関や北館1階、本館から体育館への通用口などの施錠の徹底を心がけました。

学校外の防犯防災については、教師による実踏を行い、ブロック塀の点検等、防犯防災上の危険箇所の把握に努めました。

各教室には、カード式防犯ブザーの設置及び移動教室の際の防犯ブザーの携帯を心がけ、非常時に備えることができました。

## 改善策

児童の防災防犯意識を高めるために、様々な場面を想定した訓練を今後も継続して実施していきます。

放課後や休日等学校外で子供だけで過ごしているときにも、自分たちで判断して行動できるよう指導していきます。

今後も引き続き交通安全教育を実施し、定期的に登下校に付き添い登下校指導を行うことで、交通安全に対する意識を高めるよう努めます。

引き続き正面玄関の施錠を行い、防犯に努めます。

定期的に登下校に付き添い、防犯防災上の危険箇所の把握に努めます。また、児童からの危険箇所などの情報収集に努めます。

離れた教室での授業の際には、カード式防犯ブザーを携帯し、非常時に備えるよう努めます。

## 学校関係者評価でいただいた意見等

- 子供の中で評価が低い子はなぜか？
- 防災に関しては親への認知が少なかったような気がする。
- 地域防災訓練は、親に付いて子供も参加する体制づくりを。
- 大人の意識改革が必要。
- 青パトを校門においておくだけで学校が守れる。

## 信頼される学校にするために

### 取組状況・成果・課題

ふるさと祭り、河川清掃などの地域行事に積極的に参加し、地域との交流を深めることができました。

夏休みのPTA奉仕作業に参加してくれた保護者も多く交流の充実が図られました。

HPや学校便り、マメルメールを通して積極的に情報発信を行い、子供たちの活動の様子や安全に関わる連絡をすることができました。また、学校方針についても発信することができました。

保護者からの相談や、困ったことなどにすぐに対応するように心がけてきました。学年や管理職にすぐに相談できる環境ができています。

## 改善策

引き続き、地域と連携を図りながら連絡を密にし、マメルメールなどを用いて、地域との交流の拡大を図ります。

日頃から、学校の様子を連絡帳やお便りを通して伝えていく必要があります。また、電話連絡など保護者とのコミュニケーションを密にしながら、保護者との連携を図り、相談しやすいような関係を作っていくよう努力をしていきます。

## 学校関係者評価でいただいた意見等

- アンケート結果から保護者が先生を信頼していることが見受けられる。
- 学校に対して厳しい面もあるが、頑張ってもらいたい。
- 先生方も個性を大切にほしい。
- 勉強ばかりしてきた先生は遊びも必要。